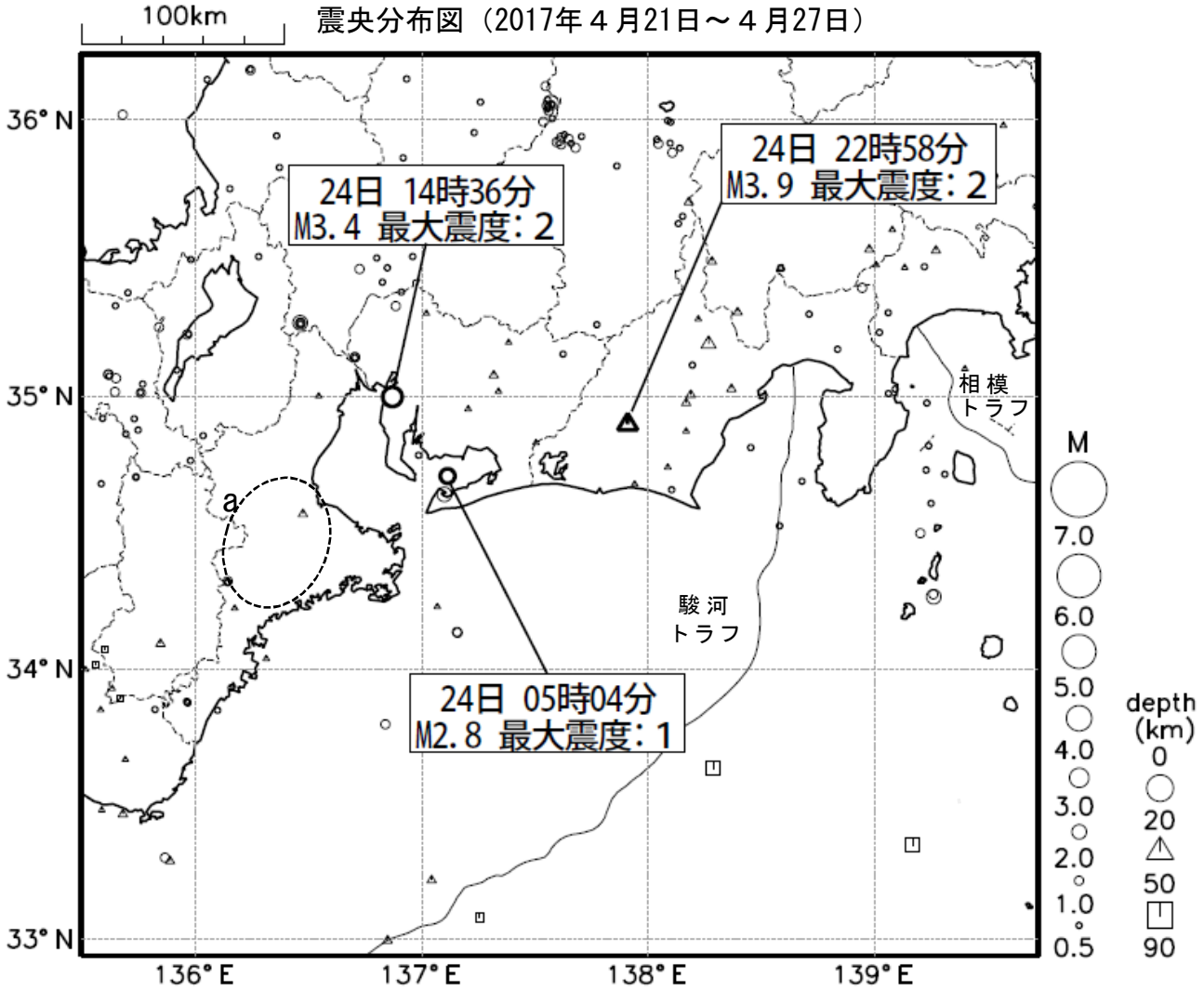
平成29年４月28日
気象庁地震火山部

東海地域の週間地震活動概況 No.17

＊震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがある。

震央分布図（2017年４月21日～４月27日）



“震度１以上を観測した地震”、“東海地域でM3.0以上、その他の地域でM4.0以上の地震”及び“その他注目した地震”に「震源時、マグニチュード、最大震度」を付している（M≧0.5、震源の深さ０～90km）。

［概 況］

特に目立った活動はなかった。なお、平成25年はじめ頃から浜名湖付近のプレート境界で発生している「長期的ゆっくりすべり」は、現在は停滞している*。

【東海地域】

［地震活動］

・24日05時04分に三河湾の深さ９kmでM2.8の地震（最大震度１）が発生した。
・24日14時36分に愛知県西部の深さ14kmでM3.4の地震（最大震度２）が発生した。
・24日22時58分に静岡県西部の深さ34kmでM3.9の地震（最大震度２）がフィリピン海プレート内部で発生した。

［深部低周波地震（微動）活動］

・20日以降、三重県（領域a）を震央とする深部低周波地震（微動）を観測している。これに同期して、東海地方に設置されている複数のひずみ観測点で地殻変動を観測している。これらの現象は、「短期的ゆっくりすべり」に起因すると考えられる。

※上の震央分布図には、震源決定精度が高い地震の震央のみ表示している。このため、震源決定精度が高くない深部低周波地震（微動）の震央は表示していない。

国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

*平成29年４月地震防災対策強化地域判定会会長会見資料（http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/gaikyo/hantei20170424/mate01.pdf）参照